

# 根来山げんきの森倶楽部

令和2年11月作業日誌



冷え込んできました。げんきの森の山肌もやっと秋らしい色に染まり始めています。今月もたくさんの倶楽部員が参加してくれました。みんなでやると一つ一つの作業も楽しく感じますね。

活動日：令和2年11月15日 10:00～15:00 天気：晴れ 倶楽部員 53人



## 熟練の技にうっとり

カシノナガキクイムシの被害木処理…プレーパーク周辺で枯れ木の処理を行いました。15人ほどで、上で木を切る人と、下で交通整理をする人に分散したので何本切ったかわかりませんが、たくさん処理できました。すごく気持ちの良い晴れだったので、汗をかきかき作業しました。チェーンソーの音を森じゅうに響かせ倒していきました。ベテランたちのチェーンソーの扱いにうっとり～。フレッシュマンは通行人の安全を図り、小枝の処理をしました。手にマメ

がいっぱいできていたので、私もなかなか頑張ったと自画自賛です。お昼は



## 鳥たちの物件探しに出会って

巣箱設置…11月7日の巣箱作り体験で既に設置した新築巣箱が9箱、それ以外の去年外した中古巣箱27箱を設置しに森の中を歩いてまわりました。げんきの森で巣箱を利用する鳥は、シジュウカラとヤマガラがほとんどです。繁殖期を迎える春より以前から繁殖に適した場所を探しますので、今の時期に巣箱をかけておく必要があります。設置場所を選ぶ注意点は、巣箱の入口方向が開けている場所、ヘビなどが上ってこないよう横枝などないしっかりした木の幹、また、縄張りがあるので巣箱と巣箱の間隔を30mほど空けることなどです。ツバメもそうですが、外敵から身を守る意味で人が行き来する場所を好むようで、管理棟からあじさい広場、手作りの森、ふれあいの森、わんぱく



の森の歩道沿いと一部尾根沿い、あとは建造物の管理棟、体験棟、道具小屋、あじさい広場のログハウス、炭小屋に設置しました。今年から巣箱の底に番号を付けて、地図にどの番号の巣箱がどこにあるかを明確にし、来年の秋の巣箱回収時にどの巣箱がどんな状態だったかを記録することにしました。みなさんも森を散策する際に、ちょっと巣箱を気にかけてみてはいかがでしょうか。冬に巣箱の物件探しをしているシジュウカラ、ヤマガラに出会うかもしれませんよ。(岩田 禎子)

## 炭焼き準備 着々と

炭焼き作業…今回も午前中は前回炭窯に入れて焼いておいた炭を出す作業、午後からは次に焼く炭材を窯に詰め、入り口を塞ぐ作業を行いました。午前の炭出しは、炭窯の前にブルーシートを敷いた上で作業をします。炭窯に入り炭を出していく係、それを運んでそれぞれの場所に割り振る係、炭を10cmの長さに切り、袋に詰める係、10kgに量って紐でしばる係、それぞれ黙々と作業を進め、炭の袋が積み上がっていきます。

午後からは残念ながら私は参加できなかったのですが、手慣れた皆さまのチームワークで、次に焼く炭材が窯の中にびっしりと詰まったことでしょうか。焼き上がりを見るのが楽しみです。(森 留津)



## 水の流れ感じる歩道

歩道整備…N地点からヒノキ谷を辿って大谷新池まで続く歩道には、5つの橋が架かっています(2つは既に通行不可となり今は巻き道を通行)。今回、残り3つの内2つの橋の補修を行いました。男7、女2計9名でロゴソール作業場から500m程奥の現場まで分厚く長い板や鍬、チェーンソー等道具を手分けして運び(これだけでもけっこうな重労働)、10時半頃から作業を開始。橋ゲタ部分はしっかりしていたので、朽ちた踏み板を取り換え、段差カ所には石を積み歩きやすいようにしました。何年ぶりかのメンテナンスです。大きな谷が少ないげんきの森の中で、水の流れを感じながら歩けるこの歩道を維持したいなあ～と言いながら作業を終えました。皆さんお疲れ様でした。(水口 和子)

## 妖精がいるような谷に癒されて

うるし谷の整備……午前中は7名で壊れた山道の階段の修復から始めました。腐った枕木や杭を撤去して、用意しておいた枕木と杭を、地面を整地しながらセットしました。杭が少し太く打ち込みにくかったので、細目の杭を作りながらの作業となりました。午前中で修復した箇所は4カ所。修復作業と同時に、うるしの木の裾の草刈りもしました。午後は4名で、梅、金柑、山椒の木の樹勢が悪いので施肥するために鶏糞を発注。鶏糞が着く間に梅の木を、重石とロープを使って、枝が横に張るように整枝しました。届いた鶏糞、7袋を手分けしてうるし谷まで担ぎ上げました。梅、金柑、山椒の幹を囲むように鶏糞を播き、鍬ですき込みました。これは個人の感想ですが、うるし谷の作業は始めてだったので先輩方から、うるし谷の歴史や開墾の時の苦労、さらに植物の説明、現在直面している問題等を、作業の合間に聞かせていただき、私自身も愛着が湧いてきました。さらに、この外界と隔絶した谷間は、まるで妖精が住んでいるかのように、静寂の中で鳥のさえずりが響いていました。この心地良い空間で作業でき、癒されました。(林 龍三)

今年はヒマラヤザクラの開花が早く、すでに葉桜になりつつあります。例年なら今頃が花の盛りなのに、冷え込みが早かったのでしょうか。寒さが苦手なヒマラヤザクラ。数年前の寒い冬には大きく育った株の枝がたくさん枯れました。今年の冬も厳しい予報が出ています。無事にこの冬を乗り切ってくれるといいのですが。(岡田 和久)